

# 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	13
	令和	2年11月26日
	午前・午後	2時00分

議会名	令和 2 年 第 8 回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号 17 番	岡村 恵子
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長	
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)	
1. 新型コロナウイルス感染症対策について (1) PCR検査と抗原検査の拡充について  (2) 高齢者施設や障がい者施設への陰圧室設置などの補助について	①市は、陽性者が出た学校名を公表し、PCR検査と周りの関係者について抗原検査をしている。先日も「抗原検査を行ったため、いち早く周りの状況をつかむことができた」と、教育長がコメントしていたが、その成果を改めて伺う。 ②この教訓を生かし、今後、他の分野でも、PCR検査と抗原検査を拡充するべきではないかと考えるがどうか。 ③感染のリスクがあっても休めない職業に携わっている人達 (エッセンシャルワーカー) に対し、PCR検査、抗原検査の「一斉・定期的検査」を行う事は急務であると考えますが、実施する考えについて伺う。 ④希望者に対するPCR検査と抗原検査の補助を行うべきではないか。  ①陰圧室設置が国の補助で受けられるという状況になってきているようだが、クラスターが起きかねない高齢者施設や障がい者施設に対し、陰圧室設置等、感染拡大防止のための積極的な支援をおこなうべきではないか。	

<p>2. 第8期介護保険事業計画について</p> <p>(1) 第8期計画の考え方について</p> <p>(2) 介護保険料について</p> <p>(3) 介護職の人材育成と処遇改善について</p>	<p>①第8期計画の考え方に関して、お金の心配がなく必要な人が必要なときに利用できるものにしていくために、どのような計画にしていこうとしているのか伺う。</p> <p>①本市の介護保険料は、第7期について約5億円の基金を使って、基準月額5,763円のまま値上げしなかったことは評価できる。しかし制度開始時には約2,500円であったものが、2、3倍に膨れ上がっている。第8期についても値上げしないための最大の努力をするべきであると考えがどうか。</p> <p>②保険料の設定に当たっては、所得段階基準を細分化し、負担能力に応じたものにより近づける努力をするべきと考えがどうか。</p> <p>①介護現場の人手不足の実態について伺う。</p> <p>②介護サービスを確実に提供していくためには、人材の育成が不可欠であり、市として、人材育成、人材確保、処遇改善にどのように取り組んでいくのか伺う。</p>
--	---